



共有すべき事例

疑義照会

相互作用



事例

【事例の内容】

ハーボニー配合錠を朝食後に服用している患者に、ネキシウムカプセル20mg 1カプセルが朝食後に処方された。患者に薬剤を交付した後に、ハーボニー配合錠の添付文書を確認したところ、「本剤と併用する場合は、プロトンポンプ阻害剤を空腹時に本剤と同時投与すること」の記載に気づいた。処方医に疑義照会を行った結果、それぞれの用法が朝食後2時間に変更となった。

【背景・要因】

患者に薬剤を交付する前に添付文書を確認すべきであったが、怠った。

【薬局が考えた改善策】

調剤の際に添付文書を確認することを徹底する。



その他の情報

ハーボニー配合錠（レジパスビル／ソホスビル配合錠）の添付文書（一部抜粋）

【使用上の注意】

3.相互作用

(2) 併用注意（併用に注意すること）

| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
|------------------------|---|--|
| プロトンポンプ阻害剤 オメプラゾール等 | レジパスビルの血漿中濃度が低下し、レジパスビルの効果が減弱するおそれがあるため、本剤投与前にプロトンポンプ阻害剤を投与しないこと。本剤と併用する場合は、プロトンポンプ阻害剤を空腹時に本剤と同時投与すること。 | レジパスビルの溶解性は胃内pHの上昇により低下する。胃内pHを上昇させる薬剤との併用ではレジパスビルの血漿中濃度が低下する。 |



事例のポイント

- プロトンポンプ阻害剤と同様に、胃内pHを上昇させる薬剤である水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウムなどの制酸剤や、ファモチジンなどのH₂受容体拮抗剤との併用にも注意が必要である。
- 処方監査時に、重複投与、投与禁忌、相互作用、アレルギー・副作用歴、副作用の発現などを確認する必要がある。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。